

## 1 A案

教材名：たけしの「げんきあっぷカード」

主題名：規則正しい生活

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 健康に気を付け、進んで自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。

## 2 授業展開例（ゲストティーチャーをG Tと示す）

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

- ◇ 「早寝・早起き・朝ごはん」の観点から、家での生活の様子を振り返る。
- ① 今から、元気調べをします。自分に当てはまるものに手を挙げてください。
- ◇ 教材を読んで話し合う。
- ② どうしてたけしは元気いっぱいなのですか。
- ・お母さんと決めた朝の時間に起きられたから
  - ・「げんきあっぷカード」に○をつけられたから
  - ・朝ご飯も食べたから
- ③ 授業に集中できないたけしはどんなことを思ったのですか。
- ・体がだるいなあ
  - ・お腹がすいた
  - ・ねむいよ
  - ・テレビをおそくまで見なければよかった
- ④ 自分のカードをじっと見つめながら、たけしはどんなことを考えているのでしょうか。
- ・かずやくんは、○ばかりでうらやましい
  - ・ぼくは、○が少ない
  - ・○がつくようにするぞ
  - ・これからは早く寝るようにしよう
  - ・早起きできるようにするぞ
- ◇ 自分の生活を振り返る。
- ⑤ みんなも、「げんきあっぷ」のために気をつけていることはありますか。
- ・早く寝るようにしている
  - ・テレビを見る時間を決めている
  - ・朝ご飯は、いつも食べているよ
  - ・体を動かして遊んでいるよ
- ◇ 「げんきあっぷ」のための話をG T（養護教諭）から聞き、自分の生活を振り返る。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、「げんきいっぱい」（P1～2）を利用し、テンポよく進める。
- ・②または③の発問で、たけしの様子を対比させ、その原因を聞きながら、内省していくたけしに共感させる。
- ・学校で基本的な生活習慣の確立に向けた取組（「げんきあっぷカード」[P6]の配布については平成25年度で終了）を実施した後に行うと、児童の体験を生かした発話が生まれ、自分事として興味・関心をもって考えていくことができる。1年生の年度始めに行う場合は、幼児用の「げんきいっぱいカード」の取組を想起させるとよい。
- ・「わたしたちの道徳」（P20～21）を終末や授業後に紹介することもできる。

## 4 参考資料

- ・「げんきいっぱいカード」（石川県教育委員会生涯学習課「心の教育推進協議会事務局」）  
<http://www.pref.ishikawa.jp/kyoiku/syougai/kyogikai/>

## 1 B案

教材名：たけしの「げんきアップカード」

主題名：規則正しい生活

内容項目：A (3) 節度, 節制

- 1 **ねらい** 健康に気を付け、進んで自分の生活を見直し、規則正しい生活をしようとする心情を育てる。

## 2 授業展開例

学習活動（主な発問と予想される児童の反応）

◇ 気持ちのよい一日をスタートさせるためにやっていることを発表し合う。

- ① 気持ちのよい一日をスタートさせるためにやっていることは何ですか。  
・早寝 ・早起き ・朝ごはん ・顔をあらう ・歯磨き ・朝のあいさつ

◇ 教材を読んで話し合う。

- ② たけしの「すごいところ」と「ちょっと残念なところ」はどこですか。

(すごいところ)

- ・約束した6時に起きているところ
- ・反省しているところ
- ・また、早起きをしたところ

(ちょっと残念なところ)

- ・寝坊して、朝ごはんを食べていないところ
- ・自分で決めたことが続かなかったところ
- ・学校で授業に集中できなかったところ

- ③ どうしてたけしは、また早起きするようになったのでしょうか。

- ・全部〇がついて、元気になりたいから
- ・かずや君のように早起きできる自分になりたいから
- ・授業に集中できるようにしたいから
- ・早起きすると、ご飯が食べられるから

◇ 自分の生活を振り返る。

- ④ たけしのように生活を見直して、気持ちのよい一日を過ごすようにしたことはありますか。

◇ 健康の大切さと規則正しい生活との関係について教師の説話（保護者からの手紙でもよい）を聞く。

## 3 指導上の留意点及び工夫

- ・導入では、「わたしたちの道徳」(P10～11)の「きそく正しく気持ちのよい毎日」を活用することも考えられる。
- ・②で出された意見を踏まえながら、たけしの再チャレンジに着目させ、規則正しく生活しようとしたたけしのよさについて触れる。そして④で、たけしのように生活を見直して、気持ちのよい一日を過ごすようにしたことがあるか問うことで、自己を見つめることができるようにする。